

佐賀市市民活動プラザ「利用登録団体」登録の要件

佐賀市市民活動プラザ（以下「プラザ」）は多様な市民活動を支援するとともに、市民活動の推進を図るための拠点施設です。プラザの登録要件である「市民活動」と認められるためにはいくつかの条件があります。下記で「はい」「いいえ」どちらかに○をして、代表者が署名してください。

1：非営利団体である 非営利とは利益を関係者で分配しないことです。

2：暴力団と関係がない、また、構成員に暴力団(員)を含まない

どちらかに○	
はい	いいえ
はい	いいえ

3：組織・運営について以下の項目を満たしていること

		どちらかに○	
①	会としての目的が明確で、自発的かつ自立した団体である 団体の目的が明記されていて会員みんながそれを理解し、同じ思いを共有していることが大切です。また団体が主体的に企画運営し活動している必要があります。	はい	いいえ
②	規約または定款、会則その他これらに準ずるものがある（詳細解説裏面A）	はい	いいえ
③	今後1年間以上の活動の継続が見込まれる	はい	いいえ
④	会計処理が適切に行われている	はい	いいえ
⑤	構成員が3人以上（責任者や連絡者が含まれる）の団体である（詳細解説裏面B）	はい	いいえ
⑥	会への加入または脱退が自由である	はい	いいえ
⑦	活動の範囲が佐賀市内を含む、または所在地が佐賀市内である	はい	いいえ
⑧	活動分野が特定非営利活動促進法の定める20項目の活動分野のいずれかにあてはまる（詳細解説裏面C）	はい	いいえ
⑨	宗教活動又は政治活動を主な目的としていない	はい	いいえ
⑩	プラザのルールを守り、プラザの管理運営に対し、支障を及ぼしません 公益を害し善良な風俗を乱す、施設等を破損し又は滅失する、プラザの設置の目的に反した利用する、などのおそれがあると認められないことが必要です。	はい	いいえ

4：活動の中に社会貢献活動が含まれている

はい	いいえ
----	-----

自分たちの楽しみだけで自己完結している趣味の団体は、社会貢献活動をしているとは言いにくいでしょう。しかし、そのような趣味の団体でも広くとらえれば社会貢献活動をしている団体はたくさんあります。（詳細は裏面D）

年 月 日

上記記載のとおり相違ありません。

団体名：	No,	受理日付
責任者署名：		

<解説 A> 規約または定款、会則その他これらに準ずるものがある

会の目的や自分達の団体について公的に紹介する場合や補助金や助成金を申請する時、また社会的信頼を得るためや、問題が起きた場合の解決への判断基準にもなります。規約等がない場合、設立時の決議文や記録、議事録等それに代わるものを提示してください。

<解説 B> 構成員が 3 人以上（責任者や連絡者が含まれる）の団体であること

仲良しグループではなく団体として活動するにはきちんとした組織と役割分担が基本です。1 人が代表と会計を受け持つ等の運営はその人一人が会の運営を独占している事となり、市民活動団体とは言えません。

<解説 C> 特定非営利活動促進法の定める 20 項目の活動分野（第 2 条別表）

1. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
2. 社会教育の推進を図る活動
3. まちづくりの推進を図る活動
4. 観光の振興を図る活動
5. 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
7. 環境の保全を図る活動
8. 災害救援活動
9. 地域安全活動
10. 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
11. 国際協力の活動
12. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
13. 子どもの健全育成を図る活動
14. 情報化社会の発展を図る活動
15. 科学技術の振興を図る活動
16. 経済活動の活性化を図る活動
17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
18. 消費者の保護を図る活動
19. 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡助言又は援助の活動
20. 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動

<解説 D> 活動の中に社会貢献活動が含まれている

例えば、自分たちも学び、楽しみながら、その成果を発表することにより人々の心を豊かにすることができたり、歴史遺産や伝統文化を後世に伝えたり、健康増進に役立ったり、あるいは子どもたちの健全育成のためになっていたりいろいろな社会貢献の形があります。